

セミナー企画など充実内容

関東鋳螺釘工業協同組合 青年部会

関東鋳螺釘工業協同組合の青年部会(平戸眞澄部会長)は9月4日、東京都墨田区の力士料理琴ヶ梅で当月度の月例会を開催。参加会員における近況報告ならびに今後の行事確認が行われた。

同部会では、会員間の交流を通じた情報交換・共有促進に月例会が事業活動の一翼を担っている。今回は浅岡善太郎氏(浅善鉄工所)が幹事当番となり会場設営を担当。当日の司会進行役は林眞康事務局長。

はじめに、平戸部会長が「9月に入って涼しくなるかと思っていました。が、まだ暑い日が続いて

おります。今後開催するセミナーについてご紹介頂いたり、会員からの近況報告もあり盛りだくさんの内容となっております。本日もよろしくお願ひ致します」と挨拶。

浅岡幹事からは、自社企画のビジネスセミナー研修会について、コロナでの自粛期間が長かった事から改めての再確認に組合行事として展開予定であると発表。講師には浅岡氏の知人である森林環境の保全活動を行われている植田優哉氏を招いて実施される。なお、同企画には浅善鉄工所総務部の岩澤拓係長と長島千穂氏も携わり、当月例会に参加して自己紹介も行われた。研修会日時などは理事会において進めていくものとした。



つづいて、一般社団法人日本ねじ工業協会関東支部と関東鋳螺釘工業協同組合、東京鋳螺釘工業協同組合、東部ファスナー協同組合共催行事である「いまさら聞けないDXと

は」セミナーが9月29日に東部ファスナー協同組合の東京ねじ会館で開催予定である事の確認が行われ、浅岡幹事の乾杯音頭で開宴。

参加会員から生産活動

など近況報告が行われ、懇親の一夕を過ごした。次回定例会の担当幹事が長島賢氏(サンノハシ)である事が確認されてから、浅岡幹事の三本締めでお開きとなった。



9月例会の様子。上の画像が浅岡幹事